

記者発表資料

四国地方整備局
災害情報

記者発表 平成23年10月5日
日時 15時00分

件名	台風12号に対する四国地方整備局の対応状況について (第4報)
----	------------------------------------

取り扱い	発表をもって解禁
発表先	高松サンポート合同庁舎記者クラブ (高松経済記者クラブ)

発表概要	<p>四国地方整備局では、台風12号による近畿地方の被害に対し、支援対策本部を設置し、被災地への支援を行っております。</p> <p>発災から約1ヶ月が経過し、四国地方整備局より派遣したTEC-FORCE等の活動状況をとりとまとめましたのでお知らせします。</p>
------	--

問い合わせ先	四国地方整備局 企画課長 井坪 慎二 企画課長補佐 村田 啓之 TEL 087-811-8488 (本部直通) FAX 087-811-8410 (本部直通)
--------	--

台風12号災害に対する四国地方整備局の対応状況 (平成23年10月5日現在)

【被災地への支援】

1) 四国地方整備局 支援対策本部の設置

四国地方整備局では9月4日(日)に支援対策本部(本部長:四国地方整備局長 川崎正彦)を設置し、被災地域への支援を行っています。

2) 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣

近畿地方整備局災害対策本部長(本部長:近畿地方整備局長 上総周平)からの支援要請に基づき、派遣隊50名(10月5日現在)を現地に派遣しています。

◎TEC-FORCE総合司令部(2名) 【派遣日:9月14日(水)~9月26日(月)】

近畿地方整備局に設置された「近畿TEC-FORCE総合司令部」に2名派遣し、TEC-FORCEの全体的な派遣調整を実施。

◎和歌山TEC-FORCE司令部(4名)、奈良TEC-FORCE司令部(1名)

【派遣日:9月9日(金)~9月27日(火)、10月3日(月)~】

近畿TEC-FORCE総合司令部の下部組織となる「和歌山TEC-FORCE司令部」(場所:和歌山県庁)に4名、「奈良TEC-FORCE司令部」(場所:奈良県庁)に1名派遣し、TEC-FORCEの派遣調整を実施。

◎情報通信班(12名) 【派遣日:9月7日(水)~10月1日(土)】

- ・衛星通信車 1台【四国技術事務所】
- ・衛星小型画像電送装置(Ku-SAT) 1台【香川河川国道事務所】

<主な活動内容>

- ・衛星通信車を熊野川(十津川)流域十津川と支川中津川の合流点(奈良県五条市大塔町清水)付近に設営し、河道閉塞箇所下流の監視映像を近畿地方整備局、奈良県五條土木事務所、十津川町役場、五條市等に配信。
- ・奈良県五條土木事務所への被災状況の映像配信のため、衛星小型画像電送装置(Ku-SAT)を設置し、運営管理。

◎河川班(4名) 【派遣日:9月8日(木)~9月15日(木)】

- ・待機支援車 1台【四国技術事務所】

<主な活動内容>

- ・紀の川水系紀の川(吉野川)支川大和丹生川支川の宗川、永谷、川股、八幡川、古田川の溪流被災状況調査を実施(奈良県五条市西吉野町)。
- ・紀の川水系紀の川(吉野川)の大滝ダムから大迫ダム上流域の本沢川

までの溪流被災状況調査を実施（奈良県吉野郡川上村）。

- ・紀の川水系紀の川（吉野川）支川津風呂川等の溪流被災状況調査を実施（奈良県吉野郡吉野町）。

◎砂防班（3名） 【派遣日：9月17日（土）～9月24日（土）】

<主な活動内容>

- ・河道閉塞が発生している熊野川（十津川）流域の4箇所（奈良県五條市大塔町赤谷、十津川村長殿、栗平、野迫川村北股）および日置川流域の1箇所（和歌山県田辺市熊野）において、土砂ダムの現地状況調査や、土石流を感知するワイヤセンサー、警報器、ケーブル等の状況調査を実施。

◎道路班（19名） 【派遣日：9月9日（金）～9月22日（木）】

- ・待機支援車 1台【徳島河川国道事務所】

<主な活動内容>

- ・県道25号線（和歌山県日高郡日高川町）、県道43号線（和歌山県東牟婁郡那智勝浦町）、県道46号線（和歌山県東牟婁郡那智勝浦町）、県道229号線（和歌山県東牟婁郡古座川町～和歌山県新宮市熊野川町）、町道下露小川線（和歌山県東牟婁郡古座川町）等の被災状況調査を実施。

◎機械班（1名） 【派遣日：9月9日（金）～9月10日（土）】

- ・排水ポンプ車 1台

<主な活動内容>

- ・四国技術事務所所有の排水ポンプ車（150m³/min、水中ポンプ）1台を相野谷川排水機場（三重県南牟婁郡紀宝町地先、一級河川熊野川支川相野谷川）に設置完了。

◎ロジ班（4名） 【派遣日：9月9日（金）～9月25日（日）】

<主な活動内容>

- ・河川班、道路班、砂防班のロジ対応（連絡調整、勤務時間・健康管理等）を実施。

3) 災害対策用ヘリの派遣

<主な活動内容>

- ・「奈良県ヘリポート」を基地として、主に人員輸送に利用。
- ・猿谷ダム（奈良県五條市大塔町、一級河川熊野川）の周辺調査を実施。
- ・十津川村立小原中学校（奈良県吉野郡十津川村）、奈良県五条市大塔町等の周辺調査や人員、物資輸送（水など）を実施。
- ・田辺市熊野地区の河道閉塞状況の調査を実施。

※本情報は速報であり、その後、変更の可能性がります。

四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

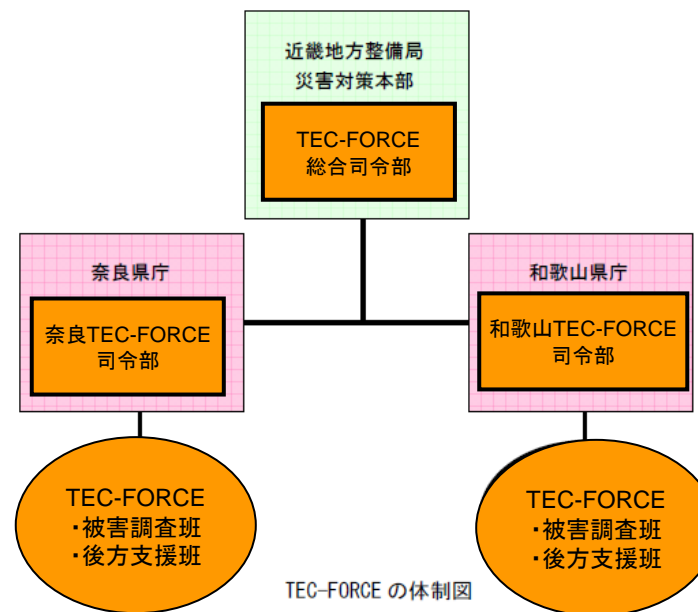
○ 近畿・TEC-FORCE 総合指令班の活動状況 (H23.9.14~9.26)

- ・ 派遣人員：合計2名
- ・ 活動概要：緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）が支援する県や市町村との連携を図るため、奈良県、和歌山県庁内に「TEC-FORCE司令部」を開設し、さらに各県のTEC-FORCE活動を統括する「総合司令部」を近畿地方整備局内に開設。
近畿地整災害対策本部と現場作業班の活動計画の検討、TEC-FORCE派遣要請に関する調整や現場班への緊急情報の提供を行うとともに、現場班の活動把握や安全対策への支援を各県司令部と連携し実施。

TEC-FORCE総合司令部活動状況



TEC-FORCE体制図



四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

○ 和歌山TEC-FORCE司令班の活動状況（H23.9.9～9.27、10.3～）

◇派遣人員：合計4名

- ◇活動概要：
- ・現地調査班の活動状況把握・報告
 - ・現地調査班の調査箇所指示及び進捗管理
 - ・調査報告書を和歌山県に報告
 - ・会議出席（和歌山県災害対策本部会議、和歌山支援チーム会議）等



四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

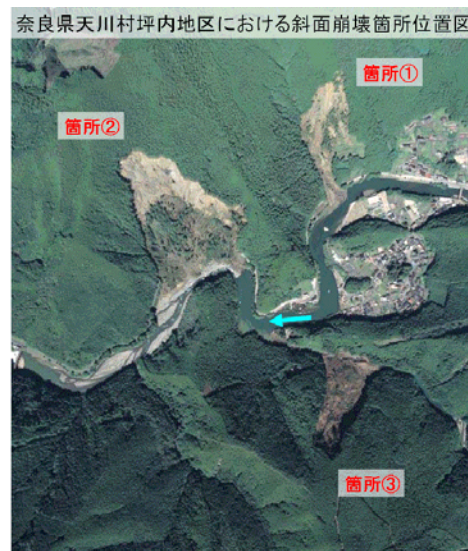
○ 奈良TEC-FORCE司令班の活動状況 (H23.9.9~9.16)

◇派遣人員：合計1名

◇活動概要：奈良県に派遣された各地整TEC-FORCE活動状況を把握し総合司令部や県に報告、奈良TEC-FORCE活動状況とりまとめ。
奈良県ニーズとTEC-FORCE活動の調整。

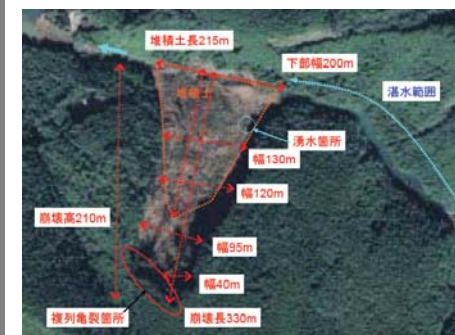


〔奈良TEC-FORCE総合司令部の状況〕
奈良県庁内

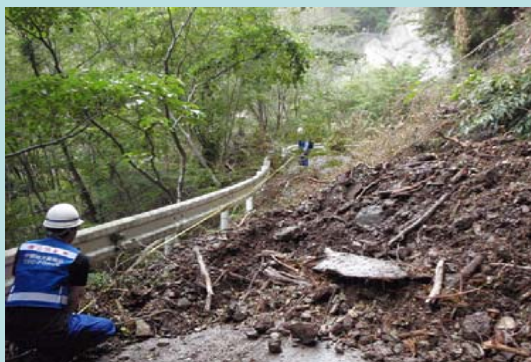


◀ 土砂崩壊状況

▼ TEC-FORCE調査概要



◇ 奈良TEC-FORCE活動状況(河川班2班、砂防班3班、道路班6班)



〔道路班活動状況〕



〔砂防班活動状況〕



〔河川班活動状況〕

四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

○ TEC-FORCE（情報通信班）の活動状況（H23.9.8～10.1）

・派遣延人数：合計12名（3人／班×4班）

・活動概要 ① 衛星通信車による映像配信

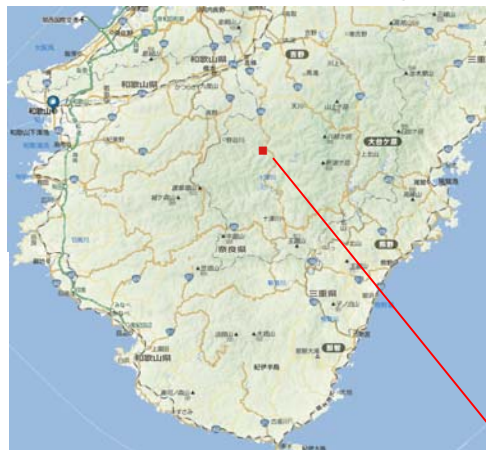
場所：奈良県五條市大塔町

内容：赤谷下流・十津川合流点の映像を本省、他地等に配信

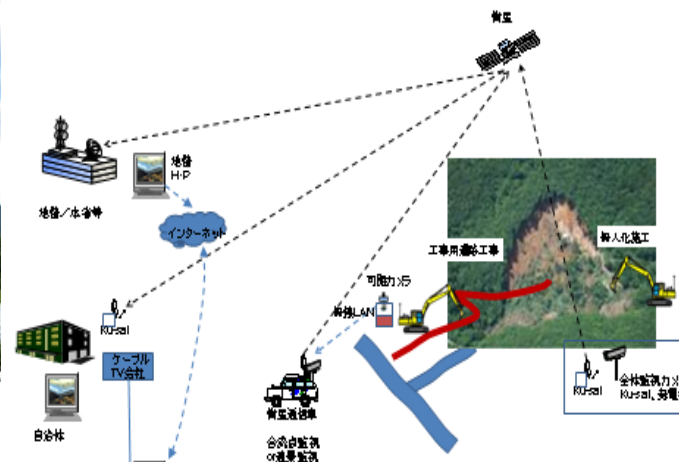
② Ku-SAT（衛星小型画像伝送装置）による映像受信

場所：奈良県吉野郡十津川村 五條土木事務所工務第2課

内容：野迫川村北股地区の河道閉塞の映像を受信



衛星通信車設営状況



河道閉塞力所（五條市大塔町赤谷）



本省・他地等への受信映像

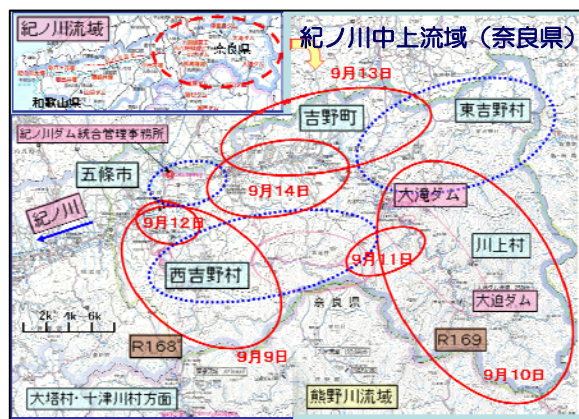


Ku-SAT設営状況

四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

○ TEC-FORCE（河川班）の活動状況（H23.9.8～9.15）

- ・派遣人員：合計5名（ロジ1名）
- ・調査場所：紀ノ川流域の中上流域（奈良県）の支流における河川被災調査
【奈良県 五條市、吉野町、東吉野村、西吉野村、川上村ほか】
- ・調査概要：豪雨被災地域の河川被災状況が欠ける範囲について広域踏査を実施。その調査結果を報告。
 - ・河川施設の被災調査、河道阻害が危惧される斜面崩壊等を調査。



河川被災調査範囲（紀ノ川中上流域の支流）



作業基地（紀ノ川ダム統管）



調査報告（奈良県庁）



調査報告



斜面崩壊の現地調査状況



石積み護岸の被災調査状況

四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

○ TEC-FORCE（砂防班）の活動状況（H23.9.17～9.24）

- ・派遣人員：合計4名（ロジ1名）
- ・調査場所：緊急調査対象の河道閉塞5箇所 あかたに 赤谷、ながとの 長殿、くりだいら 栗平、きたまた 北股（以上4箇所奈良県） いや 熊野（和歌山県）
- ・調査概要：
 - ・土石流の発生を監視するため設置されている、土石流監視装置（ワイヤセンサー、ケーブル、警報器）の状況点検。
 - ・緊急工事に入るための事前調査
 - ・赤谷のワイヤセンサーについて、18日の調査時には護岸に設置され機能していたが、台風15号後の調査（22日）では、土砂に埋没し所在不明。監視装置の状況・復旧について担当者へ報告。

赤谷（赤谷出口付近）



18日調査時、ワイヤセンサー赤谷出口に設置

赤谷（河道閉塞から下流へ3km付近）



一次的に河道閉塞した箇所のケーブル確認

赤谷（十津川から赤谷方向に0.5km付近）



斜面に設置されているケーブル

栗平（河道閉塞から下流へ2km付近）



ワイヤセンサー設置の適地調査

かわらびかわ
赤谷（河原桶川に架かる赤谷橋付近）



赤谷下流側に設置されている警報器

熊野（河道閉塞から下流500m付近）



ワイヤセンサー設置の適地調査

四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

○ TEC-FORCE（道路1班）の活動状況（H23.9.9～9.16）

- ・派遣人員：合計6名（ロジ1名）
- ・調査場所：和歌山県東牟婁郡 那智勝浦町、古座川町、新宮市【県道43号、県道229号他】
- ・調査概要：①和歌山県新宮市熊野町内の孤立集落解消のため、県道229号の被災状況を調査
県道229号では、延長約26mに及ぶ路肩崩壊及び土石流による道路流失を確認
②和歌山県那智勝浦町内の孤立集落解消のため、県道43号の被災状況を調査
県道43号では、大規模土石流による橋梁及び道路流失と路肩崩壊を確認
③和歌山県東牟婁郡古座川町内の町道被災状況を調査
条件護岸の損傷(吸出し)や路肩崩落等、町内15箇所の被災状況を確認



路肩崩壊 (L≒26m)



路肩崩壊 (L≒47m)



道路流失 (L≒30m)



土石流による橋梁・道路流出 (L≒50m)



条件護岸の損傷 (吸出し)

四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

○ TEC-FORCE（道路2班）の活動状況（H23.9.9～9.16）

- ・派遣人員：合計5名
- ・調査場所：なち かつらら こざがわ 県道那智勝浦古座川線、なちさん かつらら 県道那智山勝浦線【和歌山県東牟婁郡那智勝浦町】
こざがわ 古座川町道【和歌山県東牟婁郡古座川町】
- ・調査概要：
 - ・ 県道及び町道の法面崩壊、道路・路肩崩壊、路面破損等の被災状況を調査。
 - ・ 大規模な法面及び道路崩壊（最大約50m）、点在する路肩崩壊及び舗装の破損等を確認。
 - また、異常出水に伴う橋梁の横移動を確認。



法面崩壊、道路崩落



路肩崩壊



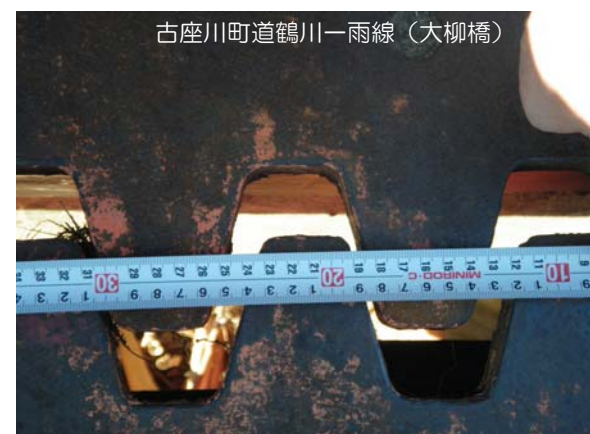
法面崩壊



路肩崩壊



路面（舗装）破損



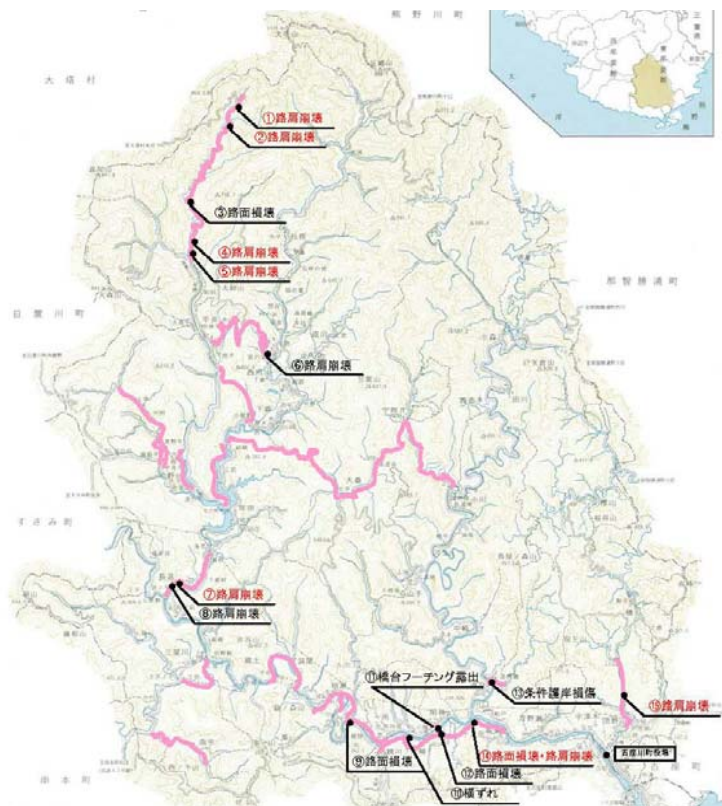
橋梁の横移動

四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

TEC-FORCE（道路班3、4班）の活動状況（H23.9.15～9.22）

- ・派遣人員：合計10名（ロジ1名）
- ・調査場所：和歌山県東牟婁郡古座川町内の町道
- ・調査概要：
 - ・和歌山県古座川町内の台風12号による町道被災箇所について、被災箇所毎に被災状況を確認し、被災延長、起終点の横断測量及び標準断面の測量等の現地調査を行った。
 - ・現地調査結果を基に平面図、断面図等を作成し古座川町に引継を行った。

■調査箇所（15箇所）



■調査状況

